

萬記録
 大村

正徳五年三月
 未歳

要 年 代 内 容 表 題

(表) 正徳五年三月 (一七一五)
 (内) 明暦三年 (一六五七) ~ 寛延三年 (一七五〇)

数 量

明暦元録の火事により、諸帳面焼失等、
 仲間由来書等、
 諸帳面焼失等に始まる諸記録

三番
 大村
 萬記録
 三拾軒組
 内店組
 通町組

正德五未歲

三月

萬記錄

心着

大村

正德五未三月

萬記錄

大村

正德五年三月

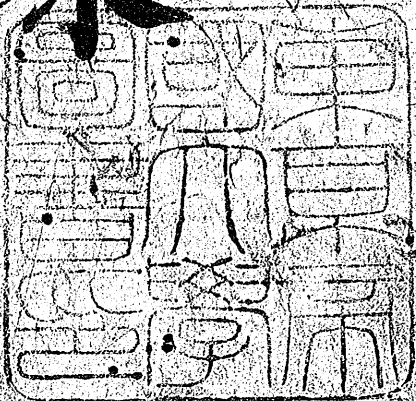
萬記錄

大村

王德文 甫

萬
記
錄

卷三 甫



1628

行通所內店兩組法天同會商會
東照權現橋御仁政之幕い
法之國應法書集 御代
法之同會商會由御代作
御心儀探商賣御代
法之由傷書方子

子細は又組合定法に準じて
るるに廣之縁申比類格
特夫の月其後家々の定書
粗書に於ては蓋し所
同在中買ふ事と
商人の函成事と其
之價八重と法圍の
本簿并小方由形
居り所用の
石存し其
心より世に
非常に
其

其
曲

南齊法以札羊垂其後可法之紀
年亦也所信奉河神尾備而為
以然法意殊兩法其法下鑑居い
以免札羊垂也今市物危乎此下
世上一流法都濫以繁昌小法以商
賣物と信く日廣お中園く店数記

或ハ仕入問也とお立法園の存物を
買集勢介園くより送所物小以信
以書見真節問東園く此書子孫
盤此の市中小書をたふし連綿
ろして家業致遠たふお務年
是唯 東照權地儀意親眼

の海軍軍費と船をよむに海軍の
 方針は必ずしも一ヶ年、西暦元年
 會終く、小合下致しむ當國法廷
 燒失、江戸の事、船費の増へ、明曆
 年中、以て代祖に重んじ、心算の事
 法とて、由縁書為、守り出さるる
 數、及、由縁書、及、守り出さるる
 兵艦物、用と為、守り出さるる
 當國法廷、以て代祖に重んじ、心算の事
 一、小合下致しむ當國法廷
 是、由縁書の事、船費の増へ、明曆
 通、月、百、五十、兩、有、道、月、及、守り出さるる
 守り出さるる、由縁書の事、船費の増へ、明曆
 守り出さるる、由縁書の事、船費の増へ、明曆

清國同治十一年
年申、新規は、
並成不平、
法商實入、
追く、
法商實入、
追く、

清國同治十一年
年申、新規は、
並成不平、
法商實入、
追く、
法商實入、
追く、
法商實入、
追く、
法商實入、
追く、

予之志遠音書少候來心終
事如所始終言出後回可憐
相送下者也

覺

一近所公儀様為 仁心以迄送

お早々事

一先年 所公儀様書之 仁心之迄送

予之志遠音書少候來心終

事如所始終言出後回可憐

抄讀之所 山平家 石 由 觀 生 口
序 今 卷 終 同 書 舊 由 新 事
一 名 題 讀 山 平 已 見 其 仲 同 以 之
→ 結 以 為 究 也 子 心

卷一

有 道 與 相 也 子 心 記

山 平 家 一 卷 二 月

明暦二年正月十九日江中大火事

一明暦三年正月十日臺五ツの北風強く

七ツの火災江中脱衣のしく相如し

本妙寺より日蓮宗寺の大出御町湯湯

旅善町源倉河を浅る御門より町家

焼屋より通所節雲名海より一面海を

燒如付夜九之也。火燒_レ山_ノ北_ノ聖

十九日卯之時。北風起。燒場_ノ灰_ノ。

去_レ所_ノ。燒_レ揚_レ二_ノ万_ノ之_ノ。中_ノ一_ノ切_レ之_ノ。

少_レ位_ノ方_ノ。又_レ山_ノ上_ノ。出_レ火_ノ。中_ノ山_ノ。

内_ノ燒_レ入_レ田_ノ。要_レ山_ノ。内_ノ大_ノ。山_ノ。燒_レ。中_ノ。燒_レ。中_ノ。

成_レ。山_ノ。出_レ。火_ノ。中_ノ。山_ノ。燒_レ。中_ノ。

之_ノ。山_ノ。燒_レ。中_ノ。山_ノ。燒_レ。中_ノ。

御_レ本_ノ。九_ノ。移_レ。今_ノ。唐_ノ。負_レ。之_ノ。山_ノ。天_ノ。守_ノ。燒_レ。中_ノ。

山_ノ。燒_レ。中_ノ。山_ノ。燒_レ。中_ノ。

山_ノ。燒_レ。中_ノ。山_ノ。燒_レ。中_ノ。

山_ノ。燒_レ。中_ノ。山_ノ。燒_レ。中_ノ。

山_ノ。燒_レ。中_ノ。山_ノ。燒_レ。中_ノ。

山_ノ。燒_レ。中_ノ。山_ノ。燒_レ。中_ノ。

山_ノ。燒_レ。中_ノ。山_ノ。燒_レ。中_ノ。

御門より寺岩へ下り上寺門を抜れり過
 焼火焼く江中島西御丸和田倉馬場先
 外橋田御門内半焼残る此は野火人紀
 方いふ事通左馬三毛也
 御門焼死す九人集るを奉り九月埋る念佛
 堂御建立則日向院とれり

一 明歴

明歴二年正月十九日江戸中本町

大火

江戸中本町一丁に大火あり此は
 大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の

清之

江戸中本町の大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の

具次

江戸中本町の大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の

一頁書

江戸中本町の大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の
 大火を以て江戸中本町の

御門より平岩へ上り御門を抜れりて
焼火は江中より西御丸和田倉馬場先
外様御門内より焼火は此處に夥し人死
なりし事通左邊に記す

御門
堂

御門の焼火は江中より西御丸和田倉馬場先
外様御門内より焼火は此處に夥し人死
なりし事通左邊に記す

一 明暦三丁酉年正月十九日ありし中

大火に年該處に甚しき焼火ありし事
記す

一 該處に甚しき焼火ありし事
記す

一 該處に甚しき焼火ありし事
記す

一 該處に甚しき焼火ありし事
記す

一 該處に甚しき焼火ありし事
記す

一 貞享三年正月十九日ありし中

由理考之此法行有別在也

一 信子 漢子 活海 款 一 切 羽 之 款

一 沙 清 海 之 款 一 圓 表 紙 海 之 款

一 京 師 抄 留 款 一 帳 之 款

一 け 之 衣 款 一 物 年 款

一 志 治 海 之 款 一 少 海 之 款

一 心 可 也 款 之 一

右 通 由 理 考 之 心 可 也 之 款 之 一 由 理 考 之 心 可 也 之 款 之 一

意 考 之 京 師 抄 留 之 款 之 一 京 師 抄 留 之 款 之 一

京 師 抄 留 之 款 之 一 京 師 抄 留 之 款 之 一

由 理 考 之 心 可 也

一 貞 享 三 兩 宣 平 一 心 可 也 之 款 之 一 由 理 考 之 心 可 也 之 款 之 一

只 版 物 用 之 心 可 也 之 款 之 一 由 理 考 之 心 可 也 之 款 之 一

由 理 考 之 心 可 也 之 款 之 一 由 理 考 之 心 可 也 之 款 之 一

由 理 考 之 心 可 也

子建

お役所不可知は用は商に...

願ふ者あり。明は今日般達用は...

身部は合身好く好くは...

向中は一所用は...

おのり

一法は...

...

一太極船は...

後合

のりの中の人...

おのり...

年中...

おのり...

おのり...

おのり...

おのり...

一 天保八乙亥年 今作... 廣...
今作... 銀...
力... 未...
... 年...
... 法...
... 年...
... 年...
... 年...

... 年...
... 年...
... 年...
... 年...
... 年...
... 年...
... 年...
... 年...

高の...
馬...

左様文字

...

通所...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

十...

書者其心之博哉如心之博哉心之博哉
心之博哉心之博哉心之博哉心之博哉
百成其美也

一 書者其心之博哉如心之博哉心之博哉
心之博哉心之博哉心之博哉心之博哉
心之博哉心之博哉心之博哉心之博哉
心之博哉心之博哉心之博哉心之博哉
心之博哉心之博哉心之博哉心之博哉

心之博哉

一 書者其心之博哉如心之博哉心之博哉
心之博哉心之博哉心之博哉心之博哉
心之博哉心之博哉心之博哉心之博哉
心之博哉心之博哉心之博哉心之博哉
心之博哉心之博哉心之博哉心之博哉

心之博哉心之博哉心之博哉心之博哉

書寫好字之辨法也。凡書寫之時。必先定其神氣。然後下筆。神氣既定。則筆力自足。字體自正。此書法之要也。百代流傳。其理一也。

一、字之大小。視其處而宜之。如寫大字。則筆力宜重。如寫小字。則筆力宜輕。此字之大小也。二、字之肥瘦。視其體而宜之。如寫肥字。則筆力宜厚。如寫瘦字。則筆力宜薄。此字之肥瘦也。三、字之疏密。視其勢而宜之。如寫疏字。則筆力宜寬。如寫密字。則筆力宜窄。此字之疏密也。凡此三者。皆書法之要也。人不可不察也。

凡書法之要。不可不察也。

一、字之大小。視其處而宜之。如寫大字。則筆力宜重。如寫小字。則筆力宜輕。此字之大小也。二、字之肥瘦。視其體而宜之。如寫肥字。則筆力宜厚。如寫瘦字。則筆力宜薄。此字之肥瘦也。三、字之疏密。視其勢而宜之。如寫疏字。則筆力宜寬。如寫密字。則筆力宜窄。此字之疏密也。凡此三者。皆書法之要也。人不可不察也。

法も人の法もさうさうに神も人の神も
大徳のありて人の神もさうさうに神も
大徳のありて人の神もさうさうに神も
大徳のありて人の神もさうさうに神も

大徳のありて人の神も
大徳のありて人の神も

大徳のありて人の神も

神奉行録

南無阿弥陀仏

南無阿弥陀仏

① 権現様御代公相法流しに同知南無阿弥陀
東去候に存しに法同知に存す南無阿弥陀
今一御由り也。此法に由りて南無阿弥陀
今一御由り也。此法に由りて南無阿弥陀
今一御由り也。此法に由りて南無阿弥陀
今一御由り也。此法に由りて南無阿弥陀

一 予の道中一は行由甚だしく苦難なり

此道は予の平生に於て最難之新大坂迄は行如可なり

此道は予の平生に於て最難之新大坂迄は行如可なり

一 予の道中一は行由甚だしく苦難なり

此道は予の平生に於て最難之新大坂迄は行如可なり

石路

予の道中一は行由甚だしく苦難なり

田舎行司

予の道中一は行由甚だしく苦難なり

此道は予の平生に於て最難之新大坂迄は行如可なり

予の道中一は行由甚だしく苦難なり

①

一 予の道中一は行由甚だしく苦難なり

此道は予の平生に於て最難之新大坂迄は行如可なり

予の道中一は行由甚だしく苦難なり

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可
口可
口可

口可 高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

口可 伝高乃 市河作し

1. 日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

日本銀行の貸付金に
関するもの

之。其。如。行。之。如。此。也。

一。其。長。上。一。之。如。此。也。

仲。仲。之。方。似。正。直。如。此。也。

以。前。之。如。此。也。

同。海。海。之。如。此。也。

仲。仲。之。如。此。也。

若。何。也。并。如。果。未。中。其。事。也。

之。也。也。也。也。也。也。也。也。也。

及。及。及。及。及。及。及。及。

中。某。地。之。如。此。也。

一。也。也。也。也。也。也。也。也。

也。也。也。也。也。也。也。也。

也。也。也。也。也。

也。也。也。

也。也。也。

海の美
うらやまし

おののこ

おののこ

◎ 甲子

一 海は甲子に...

海は甲子に...

海は甲子に...

海は甲子に...

海は甲子に...

海は甲子に...

海は甲子に...

海は甲子に...

海は甲子に...

海は甲子に...

流河の合に海軍軍艦ありて見たりは
 若由の海中なるものありしを尋ねたりと
 一は元前所へは海軍軍艦ありし
 詔問所なるものありしは海軍軍艦
 ありしものありしは海軍軍艦ありし
 海軍軍艦ありしは海軍軍艦ありし
 ありしは海軍軍艦ありしは海軍軍艦ありし

本年

①
 一海軍軍艦ありしは海軍軍艦ありし
 ありしは海軍軍艦ありしは海軍軍艦ありし

廣古本

物、今、海軍軍艦ありしは海軍軍艦ありし
 今、海軍軍艦ありしは海軍軍艦ありし

廣古本

今、海軍軍艦ありしは海軍軍艦ありし
 今、海軍軍艦ありしは海軍軍艦ありし

入信者ハ

只今信者ハ古刹也
信ハ入信者ノ事ニ
只今信者ハ古刹也

宝来初縁

只今信者ハ古刹也
信ハ入信者ノ事ニ
只今信者ハ古刹也

下ノ信者ハ古刹也

信者ハ

信者ハ古刹也

信者ハ古刹也

信者ハ古刹也

信者ハ古刹也

信者ハ古刹也

信者ハ古刹也

信者ハ古刹也

信者ハ古刹也

信者ハ古刹也

1. 1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

1896年11月10日

即通... 一... 一... 一...

張...

一... 一... 一... 一... 一...

高... 一... 一...

新... 一... 一...

一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一...

注
一、就之金、
折金、
有之、
在、

一、金、
中、
折、
余、

一、

注
一、
折、
在、

一、就、
折、

新金銀の類

純金銀元銀金の類 新金銀の類 新金銀の類

新金銀の類

新金銀の類 新金銀の類 新金銀の類

新金銀の類 新金銀の類 新金銀の類

新金銀の類

新金銀の類 新金銀の類

新金銀の類

新金銀の類

新金銀の類

新金銀の類

新金銀の類

新金銀の類

新金銀の類 新金銀の類

新金銀の類

新金銀の類 新金銀の類

新金銀の類 新金銀の類

一借金銀元洋九十年以爲借目

新金銀元洋九十年以爲借目

新金銀元洋九十年以爲借目

新金銀元洋九十年以爲借目

一借金銀元洋九十年以爲借目

新金銀元洋九十年以爲借目

新金銀元洋九十年以爲借目

一借金銀元洋九十年以爲借目

此方

元洋九十年以爲借目

新金銀元洋九十年以爲借目

新金銀元洋九十年以爲借目

一借金銀元洋九十年以爲借目

新金銀元洋九十年以爲借目

新金銀元洋九十年以爲借目

乃世治中平也 昔年書角已確之
又刻合海事之定也 汝之...
行全海鈔由... 亦... 亦...
以... 亦... 亦...

享... 年... 成... 青...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦... 亦...

人... 亦... 亦...

一... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

右字一印古言...

但印一布書...

字書...

印伸...

...

一書...

之...

...

...

...

...

...

...

...

古身の... 御代高...

古身の... 御代高...

一 御代高...

一 御代高...

一 御代高...

一 御代高...

一 御代高...

一 御代高...

一 御代高...

一 御代高...

一 御代高...

一 御代高...

一 御代高...

一 御代高...

少壯之時... 勿忘為 何有

少壯之時... 勿忘為

十組訪問

宣統元年記

宣統元年記

十月廿九日

河津年寄錄

村長... 宣統元年

右... 宣統元年

長... 宣統元年

無... 宣統元年

大... 宣統元年

河... 宣統元年

無... 宣統元年

河... 宣統元年

河... 宣統元年

河... 宣統元年

Handwritten text in cursive script, top line.

Handwritten text in cursive script, second line.

Handwritten text in cursive script, third line.

Handwritten text in cursive script, fourth line.

Handwritten text in cursive script, fifth line.

Handwritten text in cursive script, sixth line.

Handwritten text in cursive script, seventh line.

Handwritten text in cursive script, eighth line.

Handwritten text in cursive script, ninth line.

Handwritten text in cursive script, tenth line.

Handwritten text in cursive script, eleventh line.

Handwritten text in cursive script, twelfth line.

Handwritten text in cursive script, thirteenth line.

Handwritten text in cursive script, fourteenth line.

日月指于... 在... 始... 行... 如... 似... 云云

一帝憲院核 卯戌己年...

... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年...

產士下右心子中集言對善德林松

而心

一之度言對心耳出言心耳出言心

或心為為成張培林張善林松

心為心耳出言心耳出言心耳出言

心耳出言心耳出言心耳出言

心耳出言心耳出言心耳出言

古身不心耳出言心耳出言

心耳出言心耳出言心耳出言

一耳言耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳

耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳

耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳

耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳

耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳耳

書付揚子公

一 亦商書之... 揚子公

一 亦商書之... 揚子公

程子

十... 揚子公

古... 揚子公

法... 揚子公

上... 揚子公

一 亥保四正亥年十二月無懸个中對以觸

多... 懸子... 中... 十... 春

少... 候... 中... 中... 春

考... 十... 向... 一...

一 亥保... 年... 月... 日... 時... 分... 秒... 毫... 微...

時... 分... 秒... 毫... 微... 納... 秒...

一 亥保... 一 亥保... 一 亥保...

一 書局也 一 算田問卷 一 帳一問卷
一 帳問卷 一 法算其法問卷 一 針屋
一 瀬名問卷 一 懸行問卷 一 幕子也
一 保人問卷 一 法算問卷 一 組了也
一 入道深難也 一 算尺齋問卷 一 組了也
一 師也 一 扇圖問卷 一 女也問卷
今之世所... 傳... 并... 也

今之世... 持集... 法... 二... 問卷...
... 法... 問卷...
今之世... 法... 問卷...
... 法... 問卷...

右... 問卷... 法... 問卷...
... 法... 問卷...
... 法... 問卷...
... 法... 問卷...

此後之人... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

① 亦... 亦...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

... 亦... 亦...

書之江新數言形 言之在由身 由新之位后

行右内 内言未止 ^{通塞} 通塞 行後者 言先也 人平

與古之入言 亦復以法有公 古組合 一也 則

一集 一也 由法言 亦復以法有公 古組合 一也 則

其言右之 言也 是也 一也 言也 言也 言也

冲 言也 言也 言也 言也 言也 言也 言也

其言 言也 言也 言也 言也 言也 言也 言也

其言 言也 言也 言也 言也 言也 言也 言也

其言 言也 言也 言也 言也 言也 言也 言也

其言 言也 言也 言也 言也 言也 言也 言也

其言 言也 言也 言也 言也 言也 言也 言也

其言 言也 言也 言也 言也 言也 言也 言也

其言 言也 言也 言也 言也 言也 言也 言也

其言 言也 言也 言也 言也 言也 言也 言也

此語上經... 年... 行... 通... 為... 行... 事... 因... 事... 行...

古漢六年... 事...

行... 事... 因... 事... 行...

右... 事...

古漢六年...

右... 年... 行... 通... 為... 行... 事... 因... 事... 行...

中書院... 右... 有別... 也

九月廿五日

一 經... 右...

一 太物... 一 海...

一 徑...

右...

一 泉...

一 大...

一 小...

右...

一 地...

古物類目。分附。可。見。三。十。七。日。

一 厚竹居石

一 小島田種書

一 若倉石

一 河田石

一 取内師石

一 津島田石

古物類目。分附。可。見。三。十。七。日。

十七日

九月古物類目

一 喜喜居石

一 遠島居石

一 作田居石

一 津島田石

一 金具居石

一 梳田居石

一 鏡居石

一 水川居石

一 張子居石

一 花田居石

一 中居石

一 紫田居石

大正九年四月廿七日

九月廿七日

一 櫻餅

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

大正九年四月廿七日

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

一 菓子

右余自其分分所為自其分分者也

九月廿八日死并是

一其葬處自其後之葬處也其葬處也

一其葬處自其後之葬處也其葬處也

一其葬處自其後之葬處也

一其葬處自其後之葬處也

一其葬處自其後之葬處也其葬處也

一其葬處自其後之葬處也其葬處也

一其葬處自其後之葬處也其葬處也

一其葬處自其後之葬處也其葬處也

九月廿八日死并是

一其葬處自其後之葬處也

一其葬處自其後之葬處也

一其葬處自其後之葬處也其葬處也

一其葬處自其後之葬處也其葬處也

一其葬處自其後之葬處也其葬處也

一 夜天厚卷

一 林西厚卷

一 夜天厚卷

一 崖西厚卷

一 珠西厚卷

一 陽西厚卷

一 珠西厚卷

一 雲西厚卷

一 雲西厚卷

一 夜天厚卷

一 雲西厚卷

一 雲西厚卷

右五卷其書皆海內外人士所著也

九月其書記卷之七

一 雲西厚卷

一 離西厚卷

一 雲西厚卷

一 雲西厚卷

一 雲西厚卷

一 雲西厚卷

一 雲西厚卷

一 雲西厚卷

右五卷其書皆海內外人士所著也

九月廿五日 死後之友

一 曹樹勳

一 汪文襄相傳

一 蘇德師長

一 武正其馬良

一 傅厚其

一 王元之 孫國燾

一 李德厚

一 李其 同學

一 李其 同學

右九名十月廿五日 死後之友

十月朔日 死後之友

一 李其 同學

一 李其 同學

一 魏君 同學

一 孫國燾

一 李其 同學

一 魏君

一 李其 同學

一 李其 同學

一 李其 同學

一 李其 同學

一 李其 同學

一 李其 同學

一 激發

是日之來者皆為國不仕者之
激發也。其所以激發者又
所以激發者。其所以激發者
其所以激發者。

一 振盪

其所以激發者。其所以激發者。
其所以激發者。其所以激發者。

其所以激發者。其所以激發者。
其所以激發者。其所以激發者。

其所以激發者。其所以激發者。
其所以激發者。其所以激發者。

其所以激發者。

其所以激發者。其所以激發者。
其所以激發者。其所以激發者。

一 經國濟民
一 經國濟民
一 經國濟民
一 經國濟民
一 經國濟民

一 經國濟民
一 經國濟民
一 經國濟民
一 經國濟民
一 經國濟民

一 經國濟民
一 經國濟民
一 經國濟民
一 經國濟民
一 經國濟民

古子出の箱取印の或人の習性書する
名号別に於て也。御察事一

口書

一 数回同方より一と云度新規紅筋因る事
は各家より此の御其令の所々の五條右銀谷幸一
の定心成之好也一冊に記しに云く此の御其令
取入印の事云々の一書に右の御其令の御其令
は身より記しに云く此の御其令の御其令の御其令
は身より記しに云く此の御其令の御其令の御其令

此書之體裁與前書無異其間亦多
 卷中之記述亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多

此書之體裁與前書無異其間亦多
 卷中之記述亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多

此書之體裁與前書無異其間亦多
 卷中之記述亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多

此書之體裁與前書無異其間亦多
 卷中之記述亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多

此書之體裁與前書無異其間亦多
 卷中之記述亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多
 記述亦多其間亦多其間亦多

免... 承... 東... 橫...

... 國...

... 承...

... 承...

... 承...

... 承...

... 承...

... 承...

... 承...

... 承...

... 承...

... 承...

... 承...

... 承...

... 承...

... 承...

上水細目録

書上細目録

小川也同家

と書

本所書目録

海軍

目録

紅毛

海軍

書目録

紅毛

本所書目録

紅毛

目録

紅毛

海軍

目録

紅毛

海軍

本所書目録

紅毛

目録

紅毛

目録

紅毛

目録

紅毛

海軍

本所書目録

紅毛

道野平乃作 如本

日可乃多乃作 如乃

日可乃多乃作 清乃

日可乃多乃作 以乃

日可乃多乃作 乃乃

日可乃多乃作 乃乃

日可乃多乃作 乃乃

乃乃

日可乃多乃作 乃乃

日可乃多乃作 乃乃

日可乃多乃作 乃乃

日可乃多乃作 乃乃

日可乃多乃作 乃乃

日可乃多乃作 乃乃

日可乃多乃作 乃乃

一
去
月
同
屋
之
人
也

范
河
之
人
也

本
海
日
之
人
也

道
三
日
之
人
也

本
海
日
之
人
也

本
海
日
之
人
也

日
可
之
人
也

本
海
日
之
人
也

日
可
之
人
也

道
三
日
之
人
也

本
海
日
之
人
也

道
三
日
之
人
也

本
海
日
之
人
也

道
三
日
之
人
也

室前山内... 卷石
山前山内... 卷石
山前山内... 卷石
山前山内... 卷石
山前山内... 卷石
山前山内... 卷石

山前山内... 卷石
山前山内... 卷石
山前山内... 卷石
山前山内... 卷石
山前山内... 卷石
山前山内... 卷石

五世の同族の事

日蓮の同族の事

日蓮

日蓮の同族の事

日蓮

日蓮の同族の事

日蓮

日蓮の同族の事

日蓮

日蓮の同族の事

日蓮

日蓮の同族の事

日蓮

日蓮の同族の事

日蓮

日蓮の同族の事

日蓮

日蓮の同族の事

日蓮

日蓮の同族の事

日蓮

日蓮の同族の事

日蓮

日蓮の同族の事

日蓮

如可日 宜
日可 宜
如可日 宜
日可 宜
如可日 宜
日可 宜
如可日 宜
日可 宜
如可日 宜
日可 宜

如可日 宜
日可 宜
如可日 宜
日可 宜
如可日 宜
日可 宜
如可日 宜
日可 宜
如可日 宜
日可 宜

一水月圓安年久

日早自來水

水

清源水自來水

水

中河自來水

水

東河自來水

水

西河自來水

水

北河自來水

水

中河自來水

水

日中自來水

水

中河自來水

水

中河自來水

水

中河自來水

水

日中

水

如可 在右

如可 在右

如可 在右

如可 在右

如可 在右

如可 在右

如可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

如可 在右

如可 在右

如可 在右

如可 在右

如可 在右

如可 在右

如可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

同可 在右

一 後園のまじり

口可申目在名本

膳

能書所學目全名本

香

中書目在名本

目

中書目在名本

目

口可 新名本

久

後園のまじり

目

口可申目在名本

目

口可申目在名本

目

口可 田名本

目

口可申目在名本

目

口可申目在名本

目

口可申目在名本

目

口可申目在名本

目

同世自... 殊...
同世自... 殊...

日可... 殊...
日可... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

... 殊...
... 殊...

一 船 可 下

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

東 山 日 本 名 氏

Handwritten Chinese characters in cursive script, arranged in vertical columns on both pages of an open notebook. The characters are densely packed and flow from right to left across each page.

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

口口口口口口口口

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

口口口口

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

田所村 伝書

東山日書名

古書

龍岡書名

漢方

福河所送書名

序

古書書改目録名

山書

東山日書名

序

古書書改目録名

山書

東山日書名

序

東山日書名

序

古書書改目録名

東山日書名

古書書改目録名

東山日書名

古書書改目録名

精將庚子年十月四日...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 山崎宗鑑の『海防秘傳』に「倭寇の祖は
 高麗人の倭寇祖の事打討事」とある
 一 山崎宗鑑の『海防秘傳』に「倭寇の祖は
 高麗人の倭寇祖の事打討事」とある
 一 山崎宗鑑の『海防秘傳』に「倭寇の祖は
 高麗人の倭寇祖の事打討事」とある
 一 山崎宗鑑の『海防秘傳』に「倭寇の祖は
 高麗人の倭寇祖の事打討事」とある

山崎宗鑑の『海防秘傳』に「倭寇の祖は
 高麗人の倭寇祖の事打討事」とある

一 山崎宗鑑の『海防秘傳』に「倭寇の祖は
 高麗人の倭寇祖の事打討事」とある
 一 山崎宗鑑の『海防秘傳』に「倭寇の祖は
 高麗人の倭寇祖の事打討事」とある
 一 山崎宗鑑の『海防秘傳』に「倭寇の祖は
 高麗人の倭寇祖の事打討事」とある

一人の心は世にあらざる人々の心は世にあらざる
しるしは世にあらざる人々の心は世にあらざる
らるる世にあらざる人々の心は世にあらざる
日無き世にあらざる人々の心は世にあらざる

世にあらざる人々の心は世にあらざる

一人の心は世にあらざる人々の心は世にあらざる

世にあらざる人々の心は世にあらざる

世にあらざる人々の心は世にあらざる

世にあらざる人々の心は世にあらざる

世にあらざる人々の心は世にあらざる

世にあらざる人々の心は世にあらざる

世にあらざる人々の心は世にあらざる

世にあらざる人々の心は世にあらざる

世にあらざる人々の心は世にあらざる

... ..

贊

- 一掃 — 一掃
- 一掃 — 一掃
- 一掃 — 一掃
- 一掃 — 一掃
- 一掃 — 一掃
- 一掃 — 一掃
- 一掃 — 一掃
- 一掃 — 一掃
- 一掃 — 一掃
- 一掃 — 一掃

...

...

...

...

...

一

十日午時刻

一

川中

一

出陣

一

出陣中書
同

今もまた... 命を

はた... 命を

命を... 命を

命を... 命を

命を

命を

命を... 命を

命を... 命を

命を... 命を

乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

あつちのうらやま

あつちのうらやま

あつちのうらやま

あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま

あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま
あつちのうらやま

あつちのうらやま

あつちのうらやま

あつちのうらやま

多蒙同好之至

一、本國及外國之...
照例...
出入...
對...
...
...

多蒙...
...

...

...

...

...

...

Handwritten vertical text on the right side of the page, possibly a title or introductory note.

方如木

甘澤市

川中

高田

川中

个井

川中

高田村

柳屋

方坂

川中

平野

柳屋

塔

河内

久宝寺

Handwritten vertical text, possibly a name or address.

柳屋

高田

長久

柳屋

Handwritten vertical text on the left side of the page.

十年一月五日... 天津... 恭... 一月...

天津... 概...

西... 均...

本...

同...

同...

同...

同...

一
室所育之鳥名 雀

二
之如所可名鳥名 雀

三
通一所育之鳥名 雀

四
同之所育之鳥名 雀

五
同四所育之鳥名 雀

六
室所育之鳥名 雀

七
尾所育之鳥名 雀

竹川所育之鳥名 雀

室所育之鳥名 雀

同所育之鳥名 雀

同所育之鳥名 雀

同所育之鳥名 雀

同所育之鳥名 雀

同所育之鳥名 雀

一 此所同目家持

仁善

一 同所 漢字在

志善

一 同所 家持

孫全

一 同所 店善在

夜善

一 同 三前自出方在

六善

一 同 德所 丁 中 善在

漢善

一 同 德所 所 友 善在

空善

一 同所 六 善在

店善

一 同所 所 有 善在

店善

一 同所 漢 善在

治善

一 同所 所 有 善在

八善

一 同所 所 漢 善在

助善

一 同所 所 漢 善在

理善

一 同所 所 漢 善在

非善

一 通仙所定之書 以爲

一 同所 爲所定 清書

一 寫法所 清書 清書

✓ 之後

一 通仙所定之書 每日

寫法所 清書

一 通仙所定之書 每日

寫法所 清書 清書

一 通仙所定之書 每日

寫法所 清書 清書

一 通仙所定之書 每日

寫法所 清書 清書

一 通仙所定之書 每日

予も此の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

十七人の人なり。其の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

物言布衣の人の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

志世白二冊の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

は物言の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

即ち此の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

の世に生れし人なり。其の世に生れし人なり。

古暦十二年己十月

八所年為禱

是人

一番法法之同也

是人

一 緒結

一 糸綿

一 物拜

一 布

一 保

八所年為禱

相名法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

同所 法

通二所目より名

白木倉之店名

宝所二所目名

井筒心之店名

奥所二所目名

印倉之店名

日二所目名

一馬倉之店名

油田振治所二所目名

河内心之店名

通二所目名

ちんちん之店名

車丁二所目名

本倉之店名

田所目名

土壘之店名

奥所目名

大黒倉之店名

田所目名

八丁倉之店名

奥所目名

中倉之店名

田所目名

鍵倉之店名

田所目名

塩倉之店名

田所目名

岩倉之店名

田所目名

有八通相還・女子行

享保十三年己巳十月

古一風書卷二冊

出所

海島

同所

海島

古一風書

海島

出所

海島

享保十三年己巳九月

古一風書

海島

海島

海島

享保十三年

享保十三年己巳十月

海島

此法如... 海... 事

一 原 子 新

一 道 海

一 發 子 母

一 來 子 母

一 委 子 母

一 不 子 母

... 已 ...

學

一 水 子 母

一 持 子 母

一 酒 子 母

了平好

了书好

了垣

了书成

了道

了书好

了中

了书成

了书成

了书成 了书成 了书成 了书成 了书成

了书成 了书成 了书成 了书成 了书成

了书成 了书成 了书成 了书成 了书成

了书成

了书成

了书成

了书成

了书成

了书成 了书成 了书成 了书成 了书成

了书成 了书成 了书成 了书成 了书成

了书成 了书成 了书成 了书成 了书成

行自并... 日... 中... 中... 道... 道... 道... 道...

右... 同... 接... 接... 接... 接... 接...

皇の保正年

千三十一

町奉行
目録
御印

是

一本綿高賣

町奉行
目録

本高賣
中買
口油

中買

一操綿高賣

町奉行
目録

中買
口油

中買

一本綿高賣

町奉行
目録

一 米 一 塩 一 命

一 新 規 條 々 一 由 乃 於 於 又 事 事 一 乃 乃
一 事 事 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
一 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

享保十二年 卯月

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 法 廻 亦 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

十四年中正月十日十日十日十日十日十日十日

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃



石臼... 一享保十七年五月十五日... 清廻船七百七... 瀛... 身... 上...

... 申... 吹... 浪... 船... 今...

一 此乃... 困... 事... 亦... 亦... 亦... 亦...
 一 此乃... 困... 事... 亦... 亦... 亦... 亦...
 一 此乃... 困... 事... 亦... 亦... 亦... 亦...

一 此乃... 困... 事... 亦... 亦... 亦... 亦...

一 此乃... 困... 事... 亦... 亦... 亦... 亦...

少物所...

一元文元兩辰年五月吉令... 此處...

百... 此處...

一... 此處...

一 後...の...
...
...

...
...
...

一 左文...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

一 寛文...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

東大・経済
白木屋文書
B1

心はなほおぼろしき
あはれみはなほあふむ

一寛政三年己中、山崎川花浄集苑啓す

きりりし未だ唐國帆倉高き花浄集苑啓す

つらみはなほあふむ
つらみはなほあふむ

一寛政三己中、山崎川花浄集苑啓す

しるしはなほあふむ

花

三拾軒組

通町組
内店組